



和光の緑と湧き水だより会報 Verda 215号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会は、白子大坂ふれあいの森の会と協同で会報を発行します。

作成:高橋絹世 連絡先 048-462-9912

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

自然に親しみ、湧き水を守るボランティアに参加しましょう 会員募集中

2021年11月～2022年2月の主な予定表 (2021年11月17日発行)

予定	全体会	新倉ふれあいの森	富澤湧水・大坂ふれあいの森
11月	12日 第5小4年生 湧水自然観察会	20日(土) 定期保全 第4水曜日も活動予定	13日 富沢湧水 竹笹狩り 落ち葉掃き 17日 大坂ふれあいの森 落ち葉掃き
12月	11日(土) 富沢保全の後 湧き水ワークブック検討会 (10時50分～13時軽食有)	18日(土) 定期保全活動 月末の水曜日も活動予定	11日(第2土) 富沢湧水保全 湧き水ワークブック検討会(白子コミセン) 15日(第3水) 大坂ふれあいの森
2022 1月	12日(日) 樹林公園 ドンダリの森づくり (キズナプロジェクト参加)	15日(土) 定期保全 月末の水曜も保全活動 予定	8日(第2土) 富沢湧水、ヒロハアマネ保護 19日(第3水) 大坂ふれあいの森 斜面上部への道づくり
2022 2月		19日(土) 定期保全 月末の水曜も活動予定	12日(第2土) 富沢湧水斜面手入れ 16日(第3水) 大坂ふれあいの森
3月	10日 坂下公民館 和光の自然講演と 湧き水の会活動紹介 13日ヒロハアマネ観察会	19日(土) 竹林整備 月末の水曜日も活動	12日(第2土) 富沢湧水 16日(第3水) 大坂ふれあいの森

1. 森と湧き水に棲む生き物たち・植物たち NO.2 9月, 10月

●ナガサキアゲハの幼虫が石垣湧水道にあるみかんの木にいました。長崎で発見された蝶とのことですが、その幼虫が和光の湧水地で大きく育っています。温暖化の影響でしょうか？

●白く美しいレースと黒の傘のようなキノガサタケを新倉ふれあいの森で発見しました。新倉ふれあいの森では、月の最終水曜日午前も保全活動を実施して、整備に励んでいます。

●ノハカタカラクサ(別名トキワツユクサ)つゆ草にそっくりで白い花が咲く外来種。広く一面に富澤湧水の粘土層が覆われてしまう特定外来種です。長靴を履いて手袋をして取除きました。

●富澤湧水の急斜面にある立派な樫の木をサワガニが登っていました。いったいどこへ行くつもりなのでしょう。

●富澤湧水の斜面上部は台地になっていて、森の境界あたりにエゴノキの古木が2本あります。太くて幹が黒く立派です。枝の剪定をする予定の木です。エゴノキは細工がしやすく器にもなる、と紹介されています。



2. 都市部の緑と湧き水を残す市民協働型維持管理活動

緑地湧水地の通常の保全手入れは市民中心に行い、高木剪定等は公園みどり課が実施する協働型維持管理を進めています。それぞれの特徴を生かした保全を協働で進めています。緑と湧き水の特徴ある都市部の自然を多くの方々に体感していただきたいと思えます。

- 10月8日富澤湧水に公園みどり課と事業者と当会で斜面林の剪定の打ち合わせをしました。
 - 新倉ふれあいの森では10月26日に打ち合わせを実施。カシナガの害虫に対応した樹木6本、イヌシデ大木にナラタケモドキが見つかり除伐が急がれます。根の部分は何かの方法で対処。
 - 大坂ふれあいの森 富澤湧水に続く白子湧水群の一部で植生豊かな斜面林と湧水があります。周囲の建物との境界の樹木の剪定など、白子大坂ふれあいの森の会堀会長の立会いの下計画しました。それぞれの森で年度内冬季に作業が実施される予定です。
- 尚大坂ふれあいの森の通常の市民活動は、冬の間9時半集合で実施します。



3. 樹林公園ヒロハアマナの森の草刈り作業を実施しました 10月26日



前日から夜中まで大雨でしたがその後の天候回復が早く、集合時間10時にはヒロハアマナの森の草地は乾いていて、作業は進みました。日ごろ鍛えた保全活動で、茂木さん、栗原さん、青木さん、中村さん4名、園内の草刈りを実施。別柵内では公園側の草刈り機で刈り

取りが行われました。ヒロハアマナの花は3月5日~20頃の予想、必見です。

4. 坂下公民館主催の講座：地域の自然と会の活動紹介を依頼されました

日程は2022年3月10日の予定です。マップを活かして和光の自然や湧水に関わる文化を紹介し、湧き水の会の活動や今後会への参加も呼び掛けていきたいと計画しています。皆さんぜひご協力ください。

坂下公民館に近い坂下湧水公園跡地についての様子をお知らせします。現在整備が進んでいる模様です。かつてここには礫層が見える所があり、その下部から湧き水が湧き出していて、この湧き水を活かす場所になればよいですね。現在セイタカアワダチソウが繁茂しています。



5. 第五小学校4年生の「和光の湧水自然観察会」 11月12日

白子川に近い第5小学校の4年生は、和光市自然環境マップを活用し、川のみなもとである湧水について学ぶ自然観察を行うことになりました。観察場所として白子地域にある3か所、1. 大坂ふれあいの森、2. 富沢湧水・石垣湧水道、3. 熊野神社・白子宿を、3班に分かれて各回20分、移動時間10分時間を取り、湧き水の自然を体感し歴史も学んでもらおうと企画しました。湧き水の会と白子大坂ふれあいの森の会と共同で、120名の生徒たちを会のメンバー10名で案内しました。コロナが収束に向かっているときで、通常の保全に加えて、現状で安全に活動を広げていく第一歩となりました。

1. 大坂ふれあいの森では、井戸をのぞいて地下水のあることを知りました。斜面林を通り池までふれあいの森ををぐるっとまわり、生き物にとって大切な水辺(池)を観察しました。
2. 富沢湧水では、サワガニがいっぱい！。地層を見て、湧き水の仕組みを見学、地下水を通さない粘土をさわって、地質を体感し楽しみました。
湧き水やそこに棲む生き物は、子供達の勉強のための大切な財産です。
3. 熊野神社と白子宿では、白子宿の歴史を学び、白子の鎮守の森・熊野神社を中心にした晴天に恵まれた境内の白子富士に登りました。神社の例大祭(熊野神社秋祭り)の様子も伝えると、皆興味津々でした。



大坂ふれあいの森にて



湧水が湧き出す富沢湧水で地層や粘土を体感



地図をもとに神社と白子宿のお話し



白子富士



石垣湧水道

6. 2021年度 毎日地球未来賞に応募しました

昨年度は、1回目は通ったのですがその後の選考結果は残念。今年10月に大阪にある事務局から再度応募のさそいがあり、今年こそ応募しました。和光市長柴崎光子様より推薦をいただき、大変有難うございます。新しく進行中の活動を盛り込み、更なる都市部の緑の可能性について記載しました。今回は、2021年度協働事業「和光市湧水環境調査報告書とマップ」を資料として送付しました。2月の連絡待ちです。

7. NPO 法人和光・緑と湧き水の会としての手続きについてお知らせ

毎年埼玉県地域振興センターからの要請で、年間の活動状況を、会の定款に沿った形式で、申請書を作成して提出しています。また、地方法務局（さいたま地方法務局）には、特定非営利活動法人として2年ごとに理事の変更届を書類をそろえて提出する決まりになっています。NPO法人としてこれらの届け出を継続していくうえで必要な手続きです。申請書作成には、いつもの活動とは違った作業で、大変時間を要します。協力いただける方ぜひお願いしたい作業です。

8. 和光樹林公園 “キズナプロジェクト” に参加 12月12日(日) 10時半～12時

樹林公園のイベント「キズナプロジェクト」は、様々な団体が樹林公園で活動が続いている中、その団体が同時に参加し開催されます。当会では、ドングリの森プロジェクトに参加予定です。“ドングリの森”で実生から育ったドングリを、新しく整備された公園内に移植して、「新ドングリの森づくり」をスタートさせます。

移植後に成長する様々な段階で、引き続き活動が継続されるような工夫があるといいですね。



イベント後にヒロハアマナの森を観察しませんか。ここでも新エリアがあります。

9. 和光市のここがすごい！ 湧き水探検 ワークブック の作成中です

和光市のここがすごい！
湧き水探検 ワークブック

和光市の自然環境の特徴は、湧き水があることです。特に白子地区では、銅釜林と湧き水が一体となった

とみざわゆうすい
富澤湧水
おのさか
大坂ふれあいの森
があります。身近な自然について皆で学びましょう。

※注意事項

1. 湧き水の周りは、ぬれやすいです。
2. 注意して、崩さないように大切にしましょう。
3. 湧き水にすむ生き物たちを大切にしましょう。
4. ゴミなどは捨てないようにきれいな水辺を残しましょう。

お名前： _____

左記の表紙のワークブックは、研修会やボランティア体験で使っている冊子です。白子の湧き水の活動で得られた湧き水の会の知見を含めた8頁の小冊子でその都度コピーして使っています。これに、もう少し白子の歴史や活動で得られた知識を加え、湧き水の特徴を持ったワークブックにして、印刷したいと考えています。皆さんのアイデアをお寄せください。

ワークブック検討会 日時 場所

12月11日（12月第2土曜日）白子コミセンで第1回検討会
富澤湧水フィールドワーク 9時半～10時30分の後
ワークブック検討会 10時50分～（軽食有）